（様式１別紙）

臨床調査個人票使用申請書

１　個人票の対象疾患の疾患名及び疾病番号

（注）別表に掲げる疾患名及びその疾病番号を記載すること。但し、研究班の担当疾患にかかるものに限定するものとする。

（例）ベーチェット病（疾病番号：１）

２　研究利用目的等

(1) 個人票を使用した研究の目的、必要性及び期待される成果

(2) 申請者がこの研究に関連して現在までに行った研究状況

(3) 研究計画・方法及び倫理面への配慮（倫理審査委員会での審査結果を含む）

(4) その他の関連事項

（注）使用目的が、難治性疾患政策研究事業等における調査研究のため、研究班の策定した具体的な研究計画書に基づくものであるとする。各項目について、詳細かつ明確に記載すること。

３　個人票を使用する者の範囲

（注）個人票は、申請者及び当該研究班の研究者等のうち、申請者と同じ研究機関に所属する者であって、その指導監督の下に難治性疾患政策研究事業等を実施するもののみ使用できるものとする（本要綱第３章１参照）。個人票を直接に使用する者全員の所属機関名、職名及び氏名を詳細に記載すること。

（例１）○○大学大学院医学研究科　○○科学講座教授　○○○○

（例２）国立○○センター研究所○○研究第○部　○○研究室長　○○○○

４　使用する個人票の範囲

(1) 年次　　　（例）平成○○年度、平成○○年度～平成○○年度

(2) 地域　　　（例）全国、○○県

５　使用期間

（例１）承認の日から○か月間

（例２）承認の日から平成○○年○○月○○日までの期間

６　電子媒体の使用場所等

(1) 使用場所

(2) 保管場所

（注）各々の使用者ごとに、できるだけ詳細に記入すること。

（例）使用者　○○　○○について

(1) 使用場所　○○大学大学院医学研究科○○科学講座電子計算機室内

(2) 保管場所　○○大学大学院医学研究科○○科学講座教授室

使用者　××　××について

(1) 使用場所　…

７　結果の公表及び公表時期

（注）集計した結果、とりまとめた資料を公表するか否かを配慮すること。公表する場合は、公表の方法、公表の時期を記載すること。また、公表しない場合には、その理由を記載すること。

（例）　○○年○○月、「○○調査研究班平成○○年度研究報告書」として印刷公表する。ただし、当該結果に含まれる情報と、他の情報とを照合することにより、特定の個人を識別することができないような措置を講ずる。○○の資料として利用し、公表しない。

８　その他の必要な事項

事務担当者の所属機関名　　○○大学大学院医学研究科○○科学講座

職　　　名　　○○○

氏　　　名　　○○　○○

連　絡　先　　郵便番号、住所、電話番号、ＦＡＸ番号、E-mail等